

NIE 実践報告

平成 27 年 2 月 21 日（土）

鹿児島市立福平中学校

1 はじめに

本校は NIE 実践校指定 2 年目に入り，教育活動の中にどのように新聞を活用するかについて検討してきた。今年度は「教科での新聞活用」をテーマに，社会科，技術・家庭科で取り組んできた。

2 実践の実際

（1）社会科での活用

- ① 導入時に社会で起きている出来事と本時の内容が結びついていることを理解させる。

ア 人権保障を確かなものに

- 「表現の自由」と「公共の福祉」のバランスをどのように考えるか。
 - ・ ヘイトスピーチの記事を取り上げ，国連の主張と日本政府の主張をどのように考えるか，考えさせ自分の考えを発表させる。

イ 裁判員制度

- 裁判員制度の課題について考えさせる。
 - ・ 裁判員の精神的負担が大きい事例について，いくらかの猶予をもたせる制度改革の記事を利用した。

ウ 住民参加の拡大

- 住民参加がどのように行われているかを学習する。
 - ・ 自分たちの街を活性化させるための支援を政府がどのように行おうとしているのかを掲載した記事を活用し，その問題点についても考えさせた。

② 新聞発表

- 授業の前に 2 名の生徒に新聞記事を選ばせ，記事の見出しを黒板に板書させ，その記事の説明と自分の感想を発表させる。
 - ・ 時事問題に興味をもたせ，自分の考えをもたせるために活用した。
- ※ 記事の選択は生徒の判断に任せ，政治や経済に関するものではなくても採用した。

③ ディベート

- ドナーカードの 3 つの項目でどれを選ぶか選択させ，その理由を考えさせる。
 - ・ 難病を抱え臓器提供の手術を受けた子どもの記事を利用した。

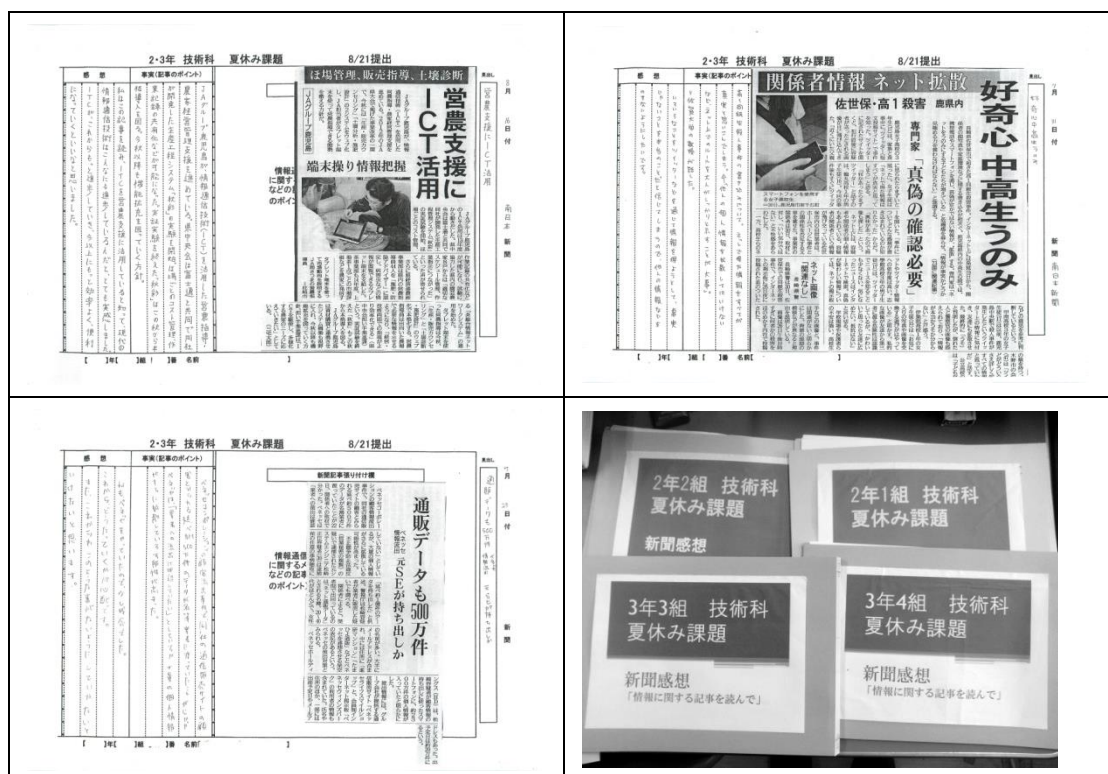
(2) 技術・家庭科（技術分野）での活用

① 「新聞感想による取り組み」～新聞記事を用いて最新の情報技術を知ろう～

技術・家庭科では学習内容を生活の中で活用させる力が求められている。そこで、夏休みの課題の一環として、最新の情報技術に関する新聞記事から自分が興味を持った事項を選択し、記事の要約と感想を書き提出をさせた。それにより情報技術に関する事項に対する興味を深め、教科書では学ぶことができない最新の情報を入手できる手段としての新聞を再認識させる目的で行った。

提出した作品は学級ごとに綴り、本校文化祭に2・3年生の技術作品として展示した。文化祭後はパソコン室に展示し興味を持った生徒が自由に閲覧できるようにした。

生徒は、この課題を通して、自分たちがこれまで情報を入手する手段としてTVやインターネット（スマートフォン）などの比較的容易なものを多く利用していることや、きめ細やかな記事を読むことによる新聞の有用性に改めて気付くことができた。また、ネットに依存している自分に気付き、大切な情報を入手するときには様々なメディアを活用するようにしたいという感想を持った生徒もいた。



(3) 技術・家庭科（家庭分野）での活用

① 「世の中 WATCH 時代を CATCH」～課題解決に向けて世の中の動きをとらえさせる～

技術・家庭科では「社会の変化に主体的に対応できる人間の育成」を目指し、「学習内容を生活の中で活用させる力」や「自分なりの工夫を生かして生活を営む」ことが求められている。そこで、各題材において、学習の導入として「実生活でどのようなことが起きているか」、また「既習事項が実生活の中でどのように活用されているか」に焦点を当て、該当新聞記事を紹介し、自分なりの意見を持たせることや、今後の生活で工夫・改善できることをまとめさせた。

A 家族・家庭生と子どもの成長での活用（2年生）

「これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考える」視点から、南日本新聞「ひろば」欄から本校卒業生の記事を紹介した。現在の家族とのかかわり方を振り返らせ、家族の立場や今後のかかわり方についての考えを深めることができた。

B 食生活と自立での活用（1年生）

課題をもって、「食生活をよりよくする方法はないか」という視点から、3つの題材において南日本新聞の各記事を紹介した。

ア 南日本新聞の「論点」から、食生活に関する記事を紹介。「健康に良い食習慣」や「栄養素の種類とはたらき」、「食品の栄養的特質」を学習後に本記事を活用することで、健康によい食習慣について見つめ直し、工夫・改善に向けて考えるきっかけとなった。

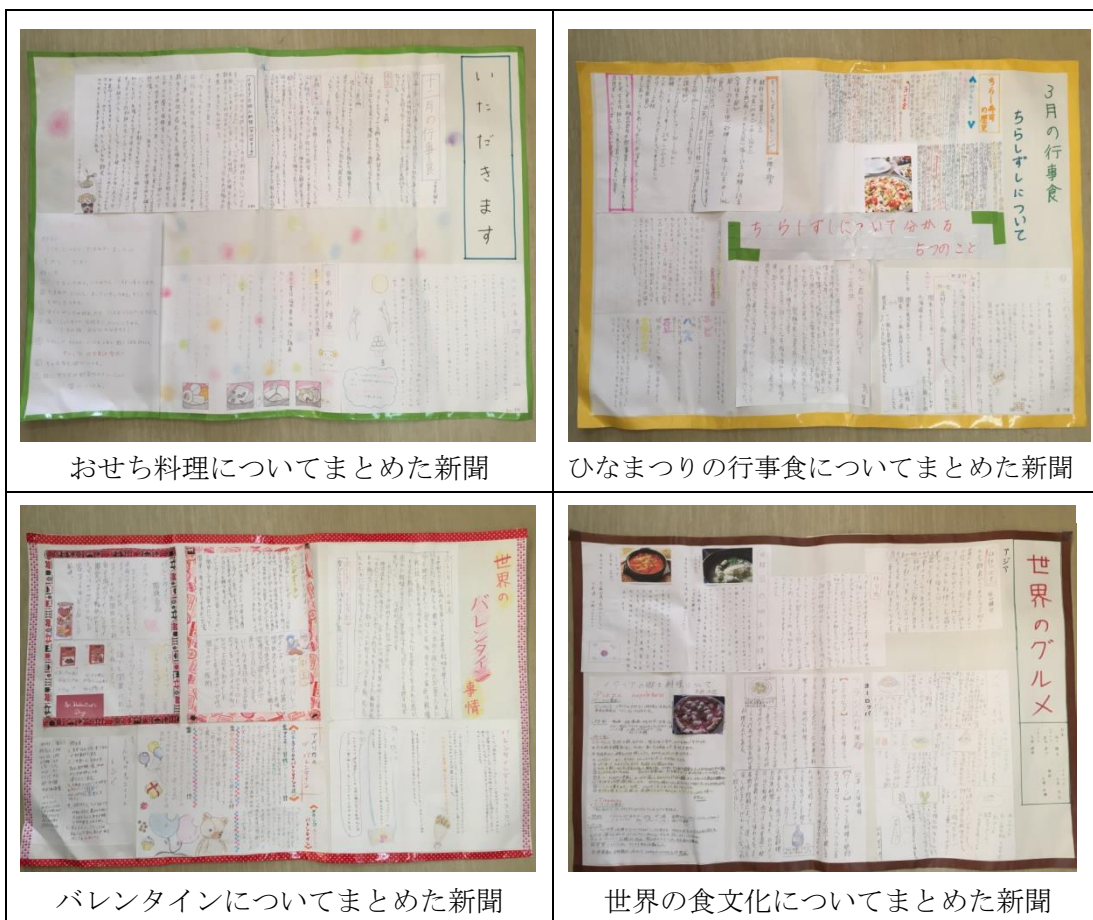
イ 「食品の選択にはどのような視点が必要か」をテーマに、加工食品の表示の読み取りの重要性や国内・地域食材を活用することのメリットについて考えさせた。

C 衣生活・住生活と自立での活用（2年生）

阪神淡路大震災 20 年経過に関する記事から、災害に備え、家族が安心して住まうための室内環境の整え方について考える導入として活用した。

② 行事食・郷土料理について調べよう～冬休み課題を新聞にまとめ、調べたことを紹介しよう～

地域の食文化に関心をもたせるために、鹿児島県の郷土料理をはじめ、他の地域の郷土料理や行事食の由来など、グループでテーマを設定させ、調べ学習に取り組ませた。調べたことを新聞形式で記事としてまとめた。あるグループでは調理実習で取り扱った「さつま汁」について調べる生徒もあり、食文化の伝承について学びを深めるきっかけとなった。



3 成果と課題

【成 果】

- 校務分掌に NIE 係が新設され、各学年 1 人の担当職員が配置された。
- 職員に NIE の意識が高まり、職業講話等でも新聞社の方を講師として招聘した。
(昨年に引き続き 2 度目)
- 教科の学習活動と関連のある新聞記事を活用することで、課題意識をもって情報を読み取る力をつける活動ができた。
- 新聞で読み取った情報から、考えたこと・気づいたこと・生活で工夫できることなど文章にまとめさせることで、単に情報を受信するだけでなく、主体的に情報を活用する力をつけることができた。

【課 題】

- 生徒が主体となった掲示活動の方法を検討する必要がある。
- タブレット端末を全職員が活用しているので、学活・道徳などで活用できる新聞記事をプールするシステムを構築することにより、全職員が新聞を活用する機会が増えるのではないかと考える。